

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

施設名：グループホームせせらぎの家

施設種類：グループホーム 小規模多機能型居宅介護施設（該当に○）

日時：令和8年5月21日（木） 10時00分～11時00分

会場：グループホームせせらぎの家 リビング

出席者：10名

内訳

利用者代表	0人	有識者	1人
利用者家族	1人	出雲高齢者あんしん支援センター	1人
地域住民の代表	1人	高齢者福祉課	2人
その他（理事長、施設長、管理者、介護支援専門員）			4人

議題

（報告事項）

1、あいさつ 自己紹介

理事長

年々暑くなり、利用者様の健康管理が難しくなっています。4月より2ユニットが1ユニットとなり、利用者様には他の施設に入っていただいたりのご心配をおかけしました。要因としては職員減少であります。特養のミャンマーの特定技能外国人3名や複数名の職員の退職があり、人員配置が厳しくなり、せせらぎの家の職員に特養へ異動もりました。6月1日よりインドネシアの特定技能外国人6名を採用する予定であります。技能習得までに数カ月がかかります。年内の1人立ちを目指し、その後2ユニットへ繋げていきたいと思っております。人材の確保・利用者様の確保のためにお知り合いの方で職員・利用者様おられましたらご紹介いただけるとありがたいです。

2、入居者状況： <定員9名>（入居者9名）※1ユニット（定員9名）休止中

要介護度1・・3名 要介護度2・・・4名 要介護度3・・・1名

要介護度4・・・1名 要介護度5・・・0名

*平均介護度・・・1.8

*平均年齢・・・87.0歳

*待機者・・12名

3、行事報告

R8. 3. 19	避難訓練	利用者 15 名、職員 9 名
R8. 3. 25	歌会	利用者 14 名、職員 6 名
R8. 5. 10	cotaba	利用者 4 名、職員 3 名

4、令和 8 年度事業計画について

5、意見交換

【行事について】

地域住民の代表

- ・避難訓練はまだ 2 ユニットの時だと思いますが、夜間で 2 名想定でしておられますか？

管理者

- ・2 人に対応し、その後応援が来るという想定で行っています。

あんしん支援センター

- ・それは火災想定ですか？

管理者

- ・今回は火災を想定し行いました。

家族代表

- ・面会に来るが、4 月までは駐車場に車が 4 台はあったが、今は 2 台くらいになり寂しい
などと思う。2 名しか職員さんがおられないので、職員さんへの負担は大きいのではない
ですか？

管理者

- ・貴重な意見ありがとうございました。

高齢化福祉課

- ・避難訓練に関してですが、夜間想定でやって見られるのはいいと思います。避難に介助
が必要な方は何名おられますか？

管理者

- ・半数の方は介助が必要だと思われます。

高齢者福祉課

- ・火災等あってはならないことだが、緊急時に寝たままシートで引きずって出す方法を取
っておられるところもあります。そういったこともやってみていただけたらと思いま

す。

高齢者福祉課

- ・BOXShop いずもへの出店は今後もされるんですか？

管理者

- ・お試して2カ月間出店していました。今後については検討中です。

【令和8年度事業計画について】

あんしん支援センター

- ・1ユニットになられてご利用者様のご様子の変化はどうか？

管理者

- ・珈琲ユニットから異動された方は4月の始め頃は落ち着かない様子があり、何回も出かけてこられたりしておられた。職員自身もふわふわした感じがみられた。今現在は利用者様も職員もだんだん慣れてきたように思います。

介護支援専門員

- ・4月に異動された当初は「やっぱりあっち（珈琲ユニット）がいいわ」と言っておられた方もおられたが、だんだんに慣れてこられ、コタバへの作品作りの目標も出来て、「慣れたよ」と言っておられます。

地域住民の代表

- ・見学会はどのような形で行われる予定ですか？

管理者

- ・特養、グループホーム、山ぼうしの3事業所が合同で行うことが出来たら良いと思っています。

地域住民の代表

- ・1日あたりの利用人数が17.5人以上となっているのはなぜですか？

管理者

- ・現在1ユニットが休止中なので戻った時を想定し、記載しています。

コミセンセンター長

- ・災害情報が5月28日より変更となります。レベルが5段階あり、レベル3以降で高齢者避難となります。夏以降にマップが配布されますが、いつ何が起こるか分からないのでホームページで確認し、災害時の対応について検討していけると良いと思います。地震は佐田行政センターの震度計で5弱になると地震対策本部が設置されます。

高齢者福祉課

- ・介護人材の確保について市も危機感を感じています。令和8年度より出雲市では介護の

仕事をしたい人を増やしたいことを目的として『新規就労者奨励金』をしています。パート職員の方が常勤で就労される場合や介護職から1年離れて再度介護職へ戻られる場合、別の業種から介護職を始められる場合、市外の方が出雲市で介護職を始められる場合に適用されます。

高齢者福祉課

- ・周囲に山も川もあり、災害対策について具体例があればお聞かせください。

管理者

- ・平成18年にせせらぎの家も水害に遭い、浸水しています。その後水位が高い時は旧八幡原デイサービスに避難したこともあります。ここ2年はそういったことはありません。

地域住民の代表

- ・山に関しては治山申請をしていますが、なかなか順番が回ってきていません。水害に関しては志津見ダムができる前のことで来島ダムが放流したためでもありました。しかし、越流するとどういった状況になるかは分からないところもあります。

施設長

- ・職員不足の為、配置基準の確保が難しく苦肉の策として4月より1ユニットとなり、ご心配をおかけし、申し訳ありません。今年度中には2ユニットに戻していきたいと思っておりますが、特定技能外国人の人がどこまで定着できるかまた、せせらぎの家にも1名配置予定ではありますが、1人で夜勤ができるかという点もあり、本日の夕方に各3事業所の所長と会議をし、出来る中で最良の方向を検討していこうと思います。市にも介護人材確保にも取り組んでいただき、感謝申し上げます。平田や市内は求人を出すと直ぐに職員の確保が出来ますが、佐田町は人口減少もあり、職員確保が難しいところもあります。皆様のご協力をいただきたいです。せせらぎの家もコタバやBOXShopいずれもの出店で法人のPRをしています。また、ツリーリングスも市内でも出演オファーが来るようになり、今後も公演を控えております。こうして職員も人材確保に向けて取り組みをしています。また、4月より賃金改正をしました。専門学校を中心に行事のボランティア参加を募集しています。実習に来た学生が行った先に入職することが多く、今年度も2名の職員の入職がありました。少人数でも質の高いサービスを目指して日々支援を行っています。

以上